愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	舩木 恵一	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

最終学年の専門演習では、大学における学修生活の集大成として、学生の個人研究～ゼミ論文執筆と、進路に関する活動をベースとしながら、演習として時事的なトピックスや、社会人になるにあたって重要テーマの学習に取り組みます。学習を通して、論理的思考力・表現力・コミュニケーション力の向上を図るとともに、主体的な行動、生涯学習や自己啓発の重要性を理解してゆきます。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	対面方式による授業を中心に行います。アクティブラーニング方式で、①ディスカッション、②グループワーク、③サーチ、④プレゼンテーション、⑤レポーティングなどを行います。状況に応じて、対面またはオンラインにて論文執筆や就活などの進捗報告と指導を行います。前期の到達目標として、ゼミ論文の50%完成を目指します

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	個人学習状況アップデート～前期演習活動及び日程の確認	単位取得状況及び卒業要件の確認、前期行動計画の作成と提出　個人面談日程調整　⑤	□
第2回	個人研究の進捗確認	個人ベースにて、進路選択方針、個人研究～ゼミ論文のテーマと項目の詳細を報告します　⑤	□
第3回	個人研究に進捗確認	個人ベースにて、進路選択方針、個人研究～ゼミ論文のテーマと項目の詳細を報告します　⑤	□
第4回	個人研究の進捗確認	個人ベースにて、進路選択方針、個人研究～ゼミ論文のテーマと項目の詳細を報告します　⑤	□
第5回	テーマ学習：入社前に知っておくべきこと　その一	企業が守るべき倫理とコンプライアンスについて、BYODと情報漏洩管理について　①、②、③、④	□
第6回	テーマ学習：入社前に知っておくべきこと　その二	社内のコミュニケーションについて、報連相の重要性、リーダーシップとフォロワーシップ　①、②、③、④	□
第7回	テーマ学習：入社前に知っておくべきこと　その三	転職・起業・副業について、アントレプレナーシップとは、昇進の機会とリスク　①、②、③、④	□
第8回	ゼミ論文中間チェック	25%執筆原稿完成。3,600～4,000字の提出（全員）⑤	□
第9回	個人研究の進捗確認	個人ベースにて、進路決定動向、個人研究～ゼミ論文の内容の詳細を報告します　⑤	□
第10回	個人研究の進捗確認	個人ベースにて、進路決定動向、個人研究～ゼミ論文の内容の詳細を報告します　⑤	□
第11回	個人研究の進捗確認	個人ベースにて、進路決定動向、個人研究～ゼミ論文の内容の詳細を報告します　⑤	□
第12回	テーマ学習：入社前に知っておくべきこと　その四	セルフマネジメントとは（健康、ストレス、お金、人間関係、キャリア）何をどのようにマネージメントすべきなのか　①、②、③、④	□
第13回	テーマ学習：入社前に知っておくべきこと　その五	投資に関する知識、教養やリベラルアーツを意識して生きるとは？生涯学習はなぜ必要なのか？　①、②、③、④	□
第14回	ゼミ論文中間チェック	50%執筆原稿完成。7,300～8,000字の提出（全員）	□
第15回	前期の振り返り	単位取得状況及び卒業要件の確認、前期行動の振り返り、夏季休暇期間の論文執筆計画の提出（12月末完成を目指して）	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

個人研究～ゼミ論文の執筆は、授業時間外の時間管理が重要となります。調査や執筆として毎週5時間程度の時間を割くように配分してください。テーマ学習では予習や準備に2時間程度、復習や関連する知識を自ら学習するなどの活動を2時間程度行ってください。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

対面による個人面談やオンライン面談を通じて、個人研究～ゼミ論文の指導を実施します。その他テーマ学習における課題や資料は、LMSを利用します。課題は添削や採点をして戻します。質問はLMSやチャット及びメールにて随時受け付けます。またオフィスアワーを利用しての面談も可能です。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019地域ビジネスDP2	企業内で働くことの意義と意味について、社会全体との関連で幅広く思考し、多面的な判断の上、自分の考え方を持ち、それを実行及び発信できる
主体性	◇ 2019地域ビジネスDP3	自己のキャリア構築を中長期的に考え、セルフマネジメント（自己啓発）を意識した行動、協働、地域とのつながりを考え、主体的に行動できる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内試験とは出席点ではありません。テーマ学習への参加態度、積極性、主体的な学び、予習復習への取組を総合的に判断します。その他評価は、ゼミ論文の到達目標に対する達成度で判断します。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ありません。必要に応じて講師が用意します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		